



## 带状疱疹はワクチンで予防できます



带状疱疹は50歳以上の人の3人に1人が一度はかかる病気とされています。コロナ禍が始まってから带状疱疹の患者さんが増えていると言われており、その原因はストレスのようです。带状疱疹はとても痛みが強い病気で、治療して治ったあとも神経痛が残ってしまうことがあります。なってからの治療より、予防するに越したことがないのが带状疱疹です。

### 带状疱疹の原因と症状

带状疱疹は水ぼうそうのウイルスが原因です。子供の頃にかかった水ぼうそうのウイルスは、治ったあとも神経節の中に潜み続けます。通常は免疫の力で増殖しないように押さえつけられていますが、ストレスや病気などで免疫力が低下すると増殖を始め、神経の走行に沿って症状を起こします。水疱を伴う赤い皮疹が神経の走行に沿って出現し、神経が直接傷害されるので強く痛むことが多く、神経痛が残るとずっと痛みます。神経の走行は左右別ですので、带状疱疹が体の左右にまたがることはありません。耳の周りや目の周りにできることもあります。耳の周りの带状疱疹は難聴やめまいや顔面神経麻痺の原因になることがあり、目の周りの带状疱疹は視力低下や失明につながることもあり特に注意が必要です。

### 带状疱疹の治療

治療開始が早ければ早いほど神経痛が残りにくくなりますので痛みと発疹が両方あるときはすぐに皮膚科を受診しましょう。内服での治療が主ですが、重症な場合や顔面の带状疱疹の場合は点滴も使われます。痛みは神経の痛みなので普通の痛み止めは効果が弱く、神経痛専用の薬が使われます。

### 带状疱疹の予防

免疫が落ちないような生活を心がけるのが基本ですが、年齢とともにかかりやすくなるため50歳以上の方にワクチンが勧められています。昔からあるワクチンは水ぼうそうワクチンと共通のもので、1回接種で8000円前後と安価ですが予防効果は60%くらいで5年効果があります。副反応は多くありませんが稀に発疹が出ることがあります。最近できたワクチン(シングリックス®)は2回接種が必要で4万円ほどかかりますが、予防効果は90%以上、効果は9年以上とされています。副反応は強めで30~40%の方に発熱や頭痛が認められます。

## クリニックからのお知らせ

- ・風邪症状があり受診を希望される方は、来院前に電話連絡をお願いします。コロナ抗原検査を先に行い陰性が確認できないと院内に入らせていただけませんので、できるだけ自家用車でおいでください。徒歩の場合は別の入口をご案内しますので必ず玄関前からお電話ください。可能なら車でのご来院をお願いします。
- ・コロナワクチン3回目接種のご予約を受け付けています。毎週火曜と金曜の午後に接種しています。当院はファイザー製のワクチンです。接種券が届いた方は4回目接種も可能です。
- ・土曜日の9時から10時半くらいは大変混み合いますので待ち時間が長くなっております。

## 院長からもうひとつ

带状疱疹ワクチンはシングリックスが効果の面では優れていますが、費用と副反応が問題になります。がんの治療中や免疫抑制剤を使用中の患者さんはシングリックスのみ接種できます。一度带状疱疹にかかると免疫が活性化してかかりにくくなるとされており、5年間はワクチンは不要とされています。ただし、がん治療や免疫抑制剤投与が行われる場合は带状疱疹が再発しやすくなるためシングリックスで予防することが望ましいです。

院長

つかもと内科

TEL:092-832-5901

<https://tsukamotoclinic.com>

ホームページもぜひご覧ください！

